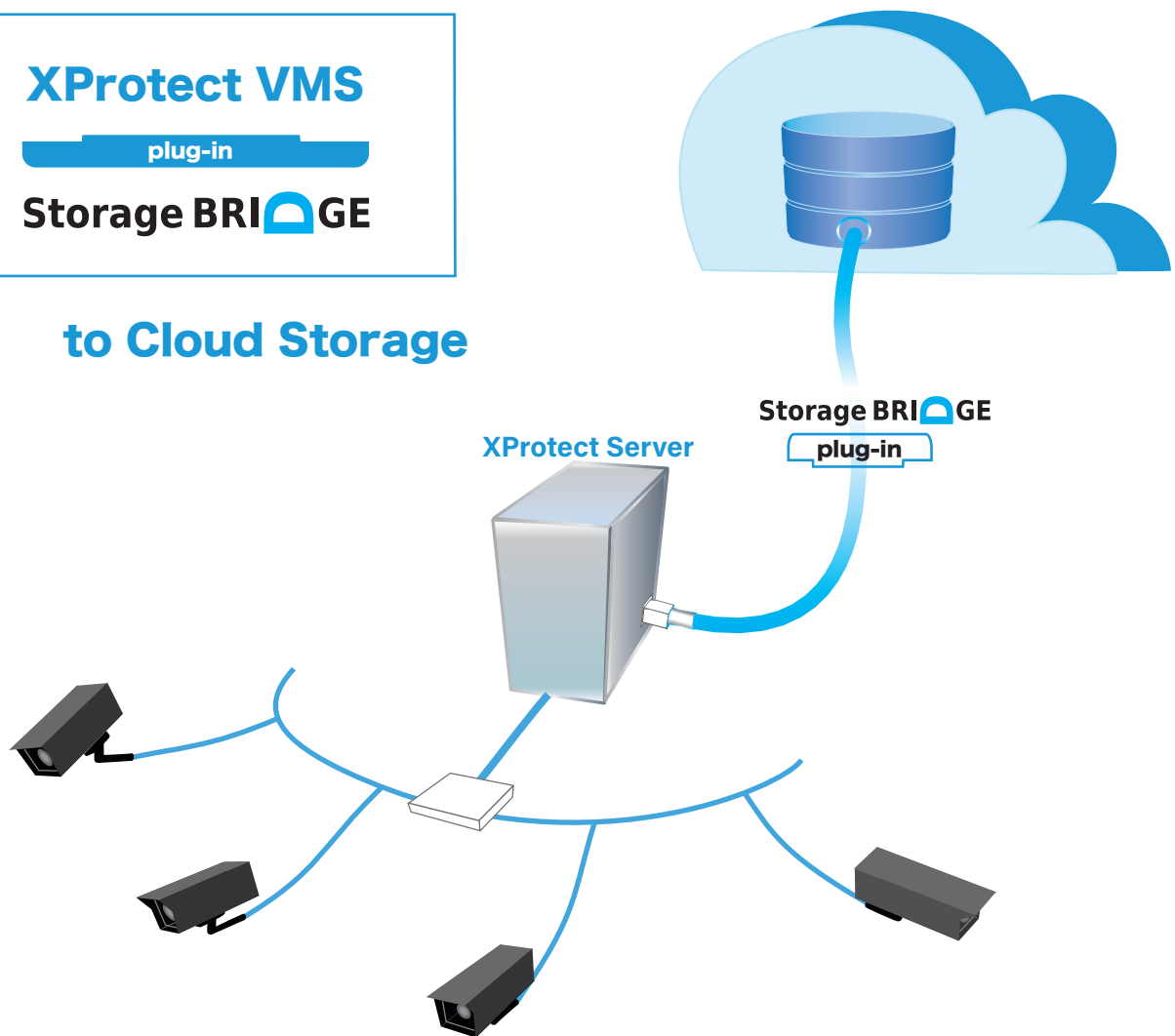


XProtect VMS

plug-in

Storage BRIDGE

to Cloud Storage



Storage Bridge は XProtect VMS のプラグインソフトウェアです。XProtect VMS にインストールすることで、XProtect Recording Server のストレージをクラウドストレージや、ローカルの NAS ストレージと一体化し、Recording Server 内のストレージのバックアップ、さらに、ストレージ拡張を可能にします。

Storage Bridge は XProtect Recording Server の Live ストレージをそのままクラウドストレージに複製し、万一、Live ストレージに障害が発生した場合でも、直ちにデータを復元し、監視カメラ映像の保存を継続することが可能です。

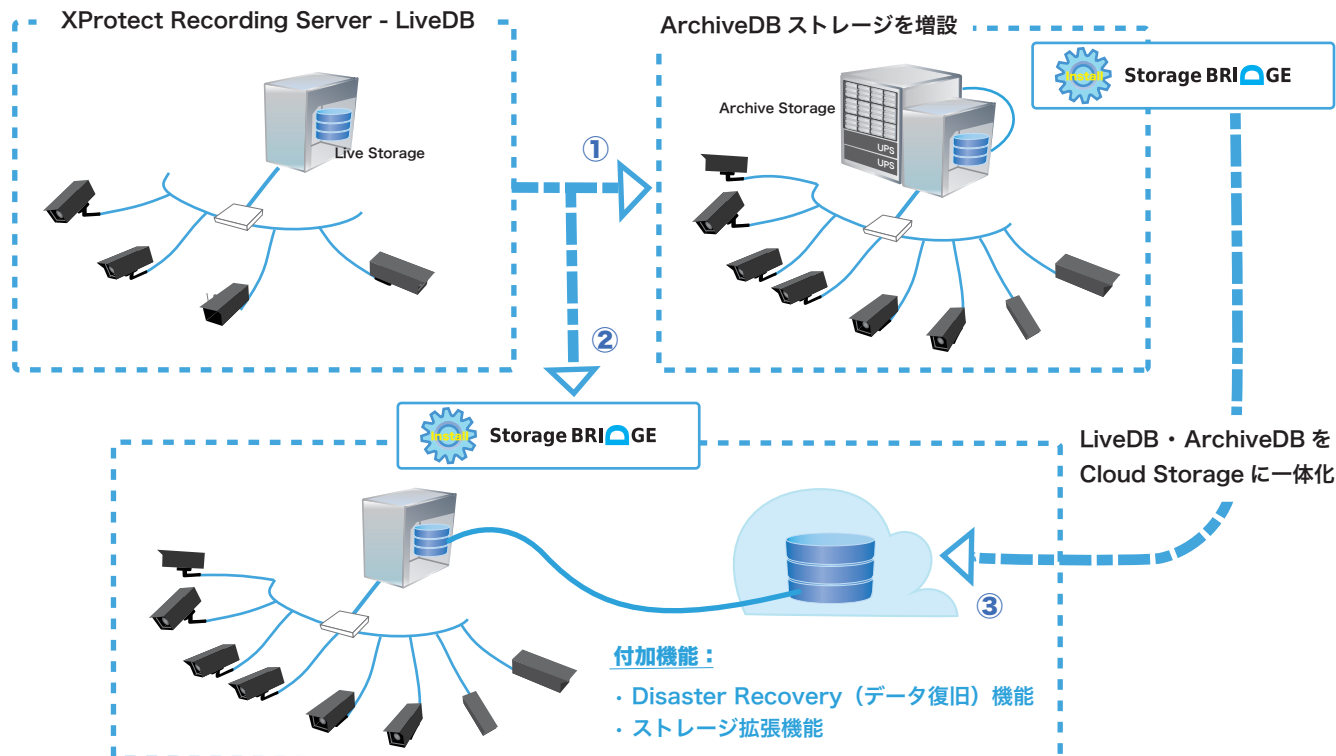
Storage Bridge は Live ストレージの容量を拡張します。一定の保存期間が経過し、その期間にアクセスされなかったデータはファイルのメタデータを残し、映像データを Live ストレージから削除し、データ部分を解放します。削除済みデータに再度のアクセスがあった場合、直ちにクラウドストレージからデータをリロードし、Smart Client のビューアーから映像を確認することができます。

Storage Bridge は AWS S3、Azure Blob、Google Cloud、Wasabi、IBM Cloud Object Storage、Hitachi Cloud Object Storage、その他、AWS S3 互換のクラウドストレージをサポートします。



Storage BRIDGE plug-in to XPROTECT® VMS

● カメラ増設、映像保存長期化によるストレージ拡張時の選択

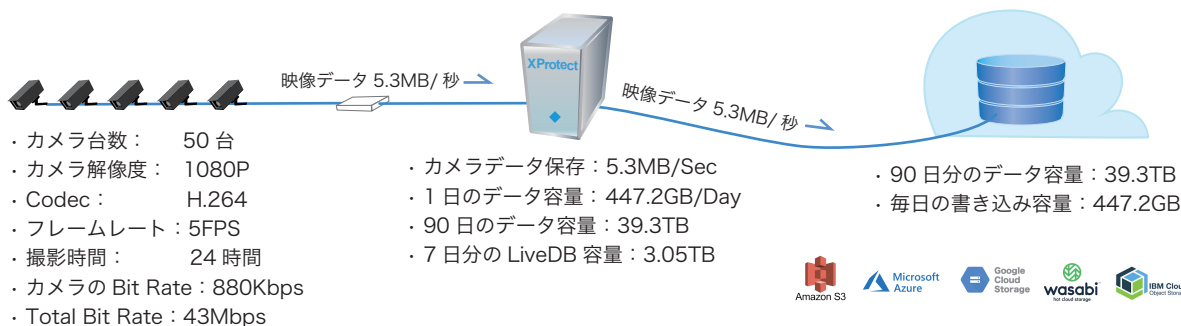


● XProtect Recording Server ストレージ拡張の三つの選択肢

- ① XProtect Recording Server に ArchiveDB 用ストレージを増設することで、LiveDB - ArchiveDB の一体化が可能になります。LiveDB, ArchiveDB に保存されたカメラ映像のインデックスキャッシュは Recording Server で一括管理されます。全ての保存映像は Smart Client のビューワで確認できます。(XProtect Corporate, Enterprise の標準仕様)
- ② XProtect Recording Server に Storage Bridge をインストールすることにより、XProtect Management Server のコンソールから容易にクラウドストレージを選択し、LiveDB と一体化が可能になります。クラウドストレージには LiveDB のデータが複製され、さらに、ポリシーに従い、一定時間アクセスされなかったデータはメタデータを残して、Live ストレージから削除され、そのスペースは新たな保存領域として解放されます。
- ③ ①で構成された Recording Server の Live ストレージや Archive ストレージをクラウドストレージと一体化することが可能です。このようにストレージを構成することで、万一のサーバー障害にも速やかに復旧可能なストレージシステムを構築できる他、ローカルストレージの容量制限を無視して大容量の映像監視システムを構築することが可能になります。

● XProtect Recording Server - Storage BRIDGE - Cloud Storage ユースケース

下記の XProtect システムは 50 台の監視カメラ映像を Storage BRIDGE の使用して、クラウドストレージに 3 ヶ月保存する例です。



XProtect, XProtect VMSはMilestone Systems社の登録商標です。 Storage BRIDGEはTiger Technology社の登録商標です。クラウドストレージのロゴはそれぞれのクラウドサービスプロバイダの登録商標です。

[国内輸入元]

[販売パートナー]

M エムアイシー・アソシエーツ株式会社

<http://www.micassoc.co.jp>, <https://micassoc.com>

〒103-0004 東京都中央区東日本橋 3-12-12 櫻正宗東日本橋ビル 8F
Tel. 03-5614-3757 Fax. 03-5614-3752